

ふくい町内会 サミット

事業報告書

福井県自治会連合会では、令和5年度から令和6年度にかけて、
福井県の集落活性化支援事業（自治会加入促進活動支援）補助金を活用し、
「ふくい町内会サミット」を開催しました。
本冊子において、その事業内容や成果を報告します。

ふくい町内会アンケート

集計結果	．．．．P2
町内会の困りごとと解決事例・アイデア	．．．．P4

ふくい町内会サミット

概要	．．．．P6
ワークショップ ーこれからの「町内会」の話をしようーの主な意見	．．．．P7
サミットを終えての波及効果	．．．．P8

ふくい町内会アンケート

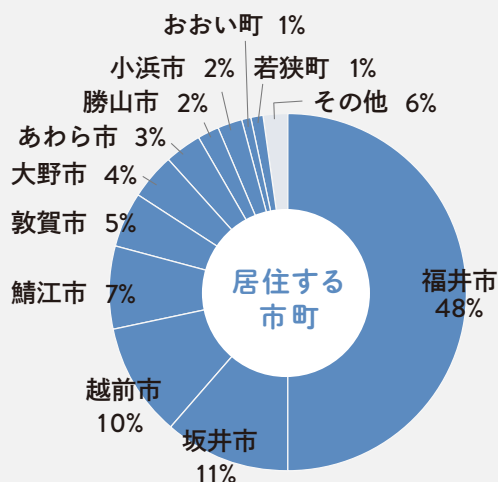


集計結果

サミット開催に先駆けて、福井県民を対象として、チラシの配布・回覧、福井新聞ほか各メディアに告知を行い、町内会に関するWebアンケートを実施しました。その結果、3,770名からご協力をいただきました。

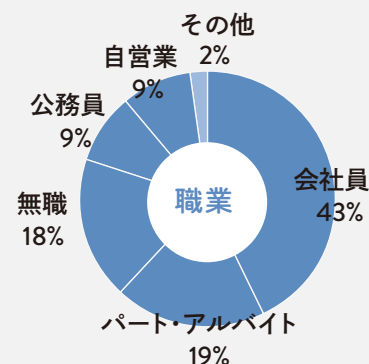
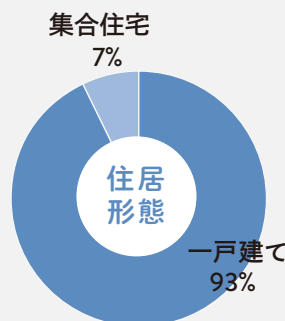
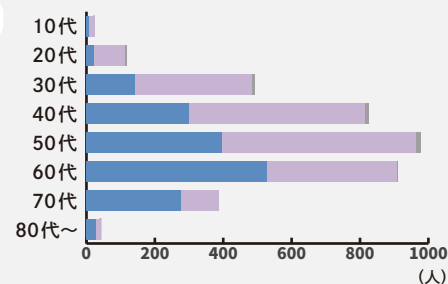
募集期間：【嶺北】R5.12.26～R6.2.9 【嶺南】R6.4.15～R6.5.17

回答者 属性

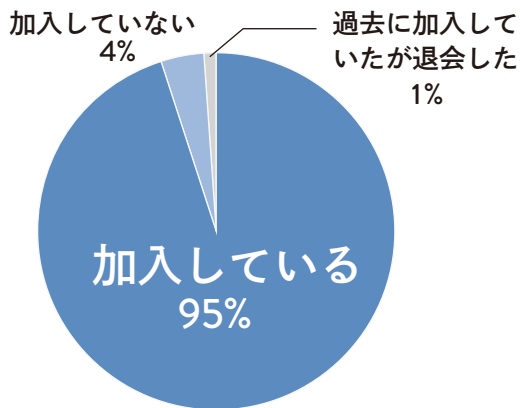


年齢・性別

■ 男性
■ 女性
■ わからない・答えたくない



Q1 町内会に加入していますか？

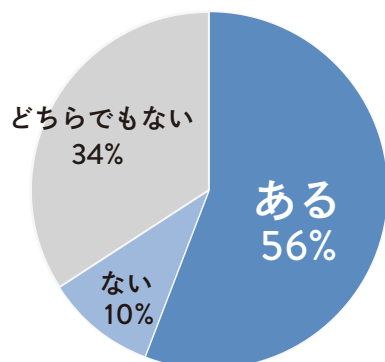


Q2 町内会に加入していない、または退会した理由は？

(件)

1	加入するメリットがわからない	51 (27.8%)
2	特に理由はない	44 (24.1%)
3	役員になりたくない	44 (24.1%)
4	忙しくて活動に参加できない	43 (23.4%)
5	加入方法がわからない	41 (22.4%)

Q3 町内会に加入していて良かったことはありますか？



Q4 町内会の活動として共感できる場所は？

(件)

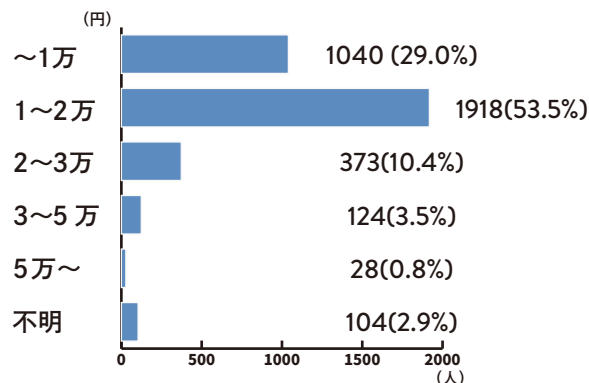
1	近くに顔見知りがいることによる安心感	2245 (59.5%)
2	行事などにより交流が広がる	1997 (53.0%)
3	地域の情報が手に入る	1965 (52.1%)
4	災害時など、いざという時に安心	1821 (48.5%)
5	防災・防犯活動により安全安心に暮らせる	1808 (48.0%)

Q5 町内会が行っている活動として知っているものは？

(件)

1	回覧板など生活や地域の情報の伝達	3442 (91.2%)
2	ごみステーションの管理	3368 (89.3%)
3	お祭りや運動会など行事の開催	3118 (82.7%)
4	災害に備えた防災訓練	2640 (70.0%)
5	公園等の清掃	2539 (67.3%)

Q6 町内会費は年間いくら支払っていますか？



Q7 町内会活動で負担に感じていることは？

(件)

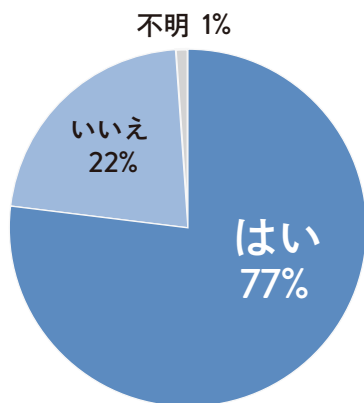
1	役員業務	1960 (52.0%)
2	各種行事への参加	1025 (27.2%)
3	会費が高い	944 (25.0%)
4	特に負担は感じない	869 (23.0%)
5	ごみステーションの当番	673 (17.9%)

Q8 町内会の活性化に必要と思うものは？

(件)

1	若い世代の参画	2079 (55.1%)
2	担い手となる人材の確保	2074 (54.9%)
3	地域住民の意識啓発	1202 (31.8%)
4	子ども・若者向けのイベント実施	1089 (28.8%)
5	加入世帯の増	964 (25.5%)

Q9 町内会の役員（町内会長、会計、班長など）を経験したことがありますか？



Q10 町内会活動を継続していく上での課題は？

(件)

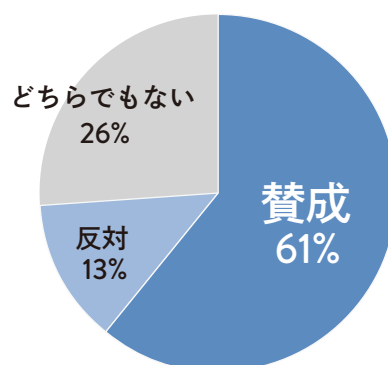
1	役員の担い手不足	1906 (68.9%)
2	役員の高齢化	1829 (66.1%)
3	役員の負担増	1443 (52.2%)
4	参加者の固定化	1276 (46.1%)
5	活動参加者が少ない	975 (35.2%)

Q11 町内会役員の業務で負担が大きいと感じるものは？

(件)

1	各種行事の運営	1490 (39.5%)
2	会費、募金の集金などお金の管理	1331 (35.3%)
3	回覧・配布物の仕分け	1109 (29.4%)
4	地域の苦情や要望への対応	721 (19.1%)
5	防災訓練や見守り活動などの運営	484 (12.8%)

※町内会の回覧配布をデジタル化することについて



町内会の困りごとと解決事例・アイデア

アンケートから分かった困りごとと解決事例、解決のためのアイデアをまとめました。
各町内でも独自に様々な取り組みをされています。解決事例の詳細は次頁をご覧ください。

困りごと①

役員のなり手がいない

解決事例

- 役員の担当順を数年後まで抽選で決めておくことで、心の準備ができる

解決アイデア

- 町内で求人募集し、給与を支払う
- 運営業務や清掃業務等を委託する
- 役員は会費を免除する
- 「子ども役員」を導入する

困りごと②

役員の負担が大きい

解決事例

- 祭りのお店にキッチンカーを利用する
- 会費の集金を年2回から1回にする
- 輪番制をやめて、運営委員会を設置し、1人にかかる負担を軽減する

解決アイデア

- イベント等やるべきことを減らす
- 自治会向け Google フォーム活用講座を開催する
- 自治体のHPに自治会運営に役立つ資料（総会資料のひな型やイベント案内等）を掲載する
- 自治体で各委員（民生委員、福祉委員等）負担軽減をする
- 町内会だけでなく連合会の行事も見直す
- 班ごとの会員MAPを作成し、回覧板等に活用する
- 会費を口座振替やカード決済にする
- データを引き継ぐのではなく、町内でPCを購入することで確実に引き継ぐ
- 募金集めはオンライン決済等を活用して団体自らがやることを減らした上で、町内会マニュアルを作成する

困りごと③

会費が高い

解決アイデア

- 行事を見直し、会費を安くする
- 全住民が必要なことと自由参加の部分で加入プランを分け、それぞれ会費プランを設定する

困りごと④

どんなイベントをしたらいいかわからない

解決事例

- モルック大会や町内ウォーキング等幅広い世代が参加できるイベントを開催する
- スマホを使ったウォーキングや、宝探しイベントを開催する

【モルックとは】

モルックは木の棒（モルック棒）を交互に投げて、先に50点ピッタリに到達させた方が勝ちとするスポーツです。簡単なルールで年齢や性別による差が少ないことから、様々な方が競い合うことができます。そのため、町内会の多世代交流で活用されることが増えています。



解決アイデア

- 子ども会と連携して、親子で参加できるようなイベントを開催する
- 町内でお店をしている人にイベントの講師等として参加してもらう
- 他団体とコラボイベント（寺マルシェのような）を開催する

困りごと⑤

高齢者が増え、降雪や災害の時が心配

解決事例

- 町内で独自に高齢世帯名簿やMAPを作成する
- グループLINEを使って被災情報の共有を図る
- 回覧板で雪かきボランティアを募集し、1人住まいの家の前の雪かきを行う
- 黄色いリボン作戦（災害時、無事であれば黄色いリボンを玄関に掲げてもらうことで安否確認）を実施する
- 共有の雪かきスコップを町内に配置し、助け合いの気持ちを醸成する

困りごと⑥

活動や会議に参加する人が少ない

解決事例

- グループLINEを使って参加者を募集する
- 防災訓練の際に炊き出しで豚汁をふるまう
- 参加して当たり前ではなく「参加して偉いね」とお互いを褒め合う
- 草むしりの後にBBQを行う
- 役員が参加を押し付けないことで、気持ちよく参加でき、不参加でも気まずくない配慮をする

解決アイデア

- 温暖化を考慮し、夏祭りを春に秋に開催する
- アンケートで行事の見直しを行う
- 昔からこうだから、ではなく初めての人にも分かるように説明する
- 参加者に粗品を配布する
- 活動内容を外部（コンサル等）の目で見てもらう
- 会議の時は事前に議題を共有する
- 昔とは生活スタイルが大きく変化しているので、若い世代の意見を取り入れて参加しやすくする
- 参加者に地域ポイントを付与する
- 町内活動をスタンプラリー形式にし、多く参加した人には年末に商品を渡す
- SNSでの情報発信、チャットを使ったコミュニティを作成し、コミュニケーションを活性化させる
- 美化活動を班別競争にしたり、防災グッズを親子で作る会を開催したり、楽しく活動できるようにする
- アパート・マンション居住者にもお知らせを配布し、参加してもらう

困りごと⑦

活動内容や加入のメリットがわからない

解決アイデア

- 回覧板を回すことは安否確認の目的もある、といったことを周知する
- 町内会が無くなったらどうなるか（公園の草は伸び放題、街灯が無く夜は真っ暗）を示し重要性を周知する
- 小学生の頃から地域コミュニティの役割や重要性について教育する
- 町内会の必要性が分かるチラシを作成し転入者に理解を得る
- アパート・マンションの管理会社から町内会費を受け取る場合、会費の使い道を住居者にも明らかにする
- 町内の決まりごと等様々な情報が分かるチラシ（「ようこそ〇〇町へ」）を作成し、転入者に渡す
- 役員業務のドキュメント動画を作成し、具体的な活動を知ってもらう

解決事例の詳細を一部紹介します

鯖江市 F 地区による DX 推進事例

回覧板アプリの「結ネット」を導入するにあたり、F 地区は DX のための専任者を任命した。

区長の任期は 1 年であり、その後のサポートなどを考えると自分の任期で DX に踏み込めないという区長が多い中、F 地区では 3 年間、DX 専任者として役員をしてもらうことで、DX 推進に成功した。

ふくい町内会サミット
ファシリテーター
田中先生の分析

地区イベントでの キッチンカー導入事例

従来、町内のイベントでは、町内会役員や青壮年会等が焼きそばなどを作っていたが、材料の買い出し、テント張り、調理・販売等負担が大きかった。その解決策として、キッチンカーに出店してもらうことで、負担を軽減する町内が増えていた。また、より質の高い飲食物を提供することで売上増にも繋がっている。

【お問合せ先】

一般社団法人
福井県キッチンカー協会
Tel: 070-1737-0174



福井市宮西自治会による 運営改善の事例

自治会長の輪番制をやめ、4 つの班から 2 名ずつ運営委員を選出し、運営委員会を設立、自治会運営を行っている。町内で問題が発生しても、会長 1 人で抱えることなく、運営委員会の場で協議し、対応を決定している。

また、会費の口座引落としにも取り組み、福井ネット株式会社の代金回収サービスを導入し、ほとんどの世帯が年 1 回の口座引落しで会費を納入している。

運営委員会で発行している
「宮西自治会だより」→



アンケートから見る各世代の課題認識の違い

10 代	中高生・若者が対象となる行事がなく、参加し辛い。
20 代	仕事との両立が難しく、一般市民としての町内活動への負担感が大きい。 役員を経験したことが無いため、回覧や行事参加等の面倒なことを回避したいという傾向がある。
30 代	共働き・子育てとの両立は難しく、一般市民としての町内活動への負担が 20 代よりも深刻化（ゴミ当番や配慮のない役員分担等への不満）役員経験による、担い手として直面した現実的で具体的な課題・不満を感情的に主張している。
40 代	子供が大きくなり、共働き・子育てとの両立課題は減少しているが、役員経験者が増えて、町内運営の具体的な課題についての問題意識を表明している。
50 代	町内活動について当事者目線であり、町内運営の文化慣習ギャップや社会構造的課題・継続運営課題を俯瞰的に把握している。
60 代	これからの地域運営や自分の老年期の生活不安が少しずつ現れてくる。少子高齢化等の地域変化を目の当たりにして、町内運営の継承や体質を諦観的・悲観的に憂慮している。
70・80 代	町内運営展望の厳しさ、高齢による活動継続の苦しさ、世代や新旧住民間の文化慣習ギャップをやや感情的に主張する傾向がある。

世代格差及び共通点の考察 下記 2 グループに分類可能

(※10 代・80 代以降は、ケース数が少ないので割愛)

【40 代・50 代・60 代】 地域の担い手経験重視による 課題提示グループ

- ・町内会運営の担い手として共通認識がある。客観的・中立的な立場から課題把握
- ・なお、世代間に意識の格差あり、醸成(40 代)→客観視(50 代)→諦観(60 代)となっている

【20 代・30 代・40 代】 自己都合・ライフステージ重視による 課題提示グループ

- ・自分の価値観やライフステージの状況からやや主観的・感情的に課題提示
- ・ただし、20・30 代と 70 代の価値観は対立的関係で世代分断状況

町内会役員の担い手についての結論

- ・役員獲得のメインターゲット 40・50 代で、自治会の運営改革に見える化(=変更+発信)が必要
- ・活動参加層 20・30 代(70 代)へは、生活状況に配慮した活動の負担軽減の見える化が必要

ふくい町内会サミット



概要

日時・会場・参加人数

▶ 嶺北編 日時：令和6年2月23日（金・祝）13：00～15：30
会場：アオッサ6階レクリエーションルーム A・B
参加人数：参加者50名、観覧者50名

▶ 嶺南編 日時：令和6年6月30日（日）13：00～15：30
会場：敦賀市役所2階講堂
参加人数：参加者30名、観覧者10名

ファシリテーター 福井大学国際地域学部准教授 田中 志敬 氏



内容 ① イントロダクション「どうする町内会」

町内会とはそもそも何か、現在の町内会が抱える課題など、アンケート結果をもとに確認

② ワークショップ「これからの「町内会」の話をしよう」

- STEP 1 「町内会魅力 UP ワークショップ」魅力的な企画やアイデアとは
- STEP 2 「町内会課題解決ワークショップ」近所だから助け合える課題と活動とは
- STEP 3 「町内会運営改善ワークショップ」運営の負担軽減・効率化のアイデアとは



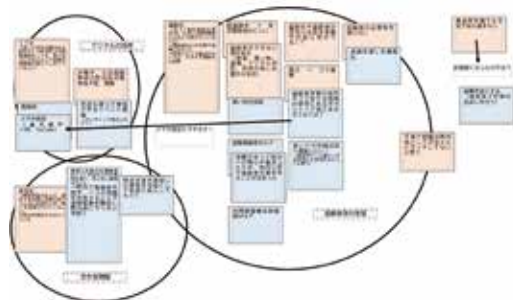
嶺北会場では、10代から70代までの参加者がテーブルを囲み、町内会をよくするアイデアを出し合いました。世代を超え、白熱した議論が交わされました。



観覧者も自身の町内会に関して問題意識を持った方が多く、観覧者同士で自然と円になり議論されていました。



嶺南会場では、各ワークショップの後、それぞれのテーブルの意見を代表者が発表し、参加者全員に情報共有を行いました。



ワークショップでは、課題をピンク色の付箋に、解決策を水色の付箋に記入し、各々意見を出し合いました。

ワークショップーこれからの「町内会」の話をしようーの主な意見

STEP 1 「町内会魅力 UP ワークショップ」魅力的な企画やアイデアとは

【解決策】

- ・ 防災訓練 + ○○ で新たなイベントを実施すると、訓練の参加者が増え、防災意識の向上にも繋がる
と考える。(例：防災運動会、防災キャンプ、防災 BBQ など)
- ・ 班ごとに競い合って活動（清掃、花壇整備など）すると、楽しく活動ができ、隣近所がより仲良くなる
と考える。
- ・ 町内会の活動や役割をホームページや SNS など発信したり、引っ越してきた人に町内会の紹介や
加入のメリットをまとめたチラシを渡したりして、町内会のことをもっとアピールするとよい。
- ・ 町内アンケートで意見を集めて、町内会でやるべきことの優先順位を決め、ムダを減らし、活動を
スリム化したい。

STEP 2 「町内会課題解決ワークショップ」近所だから助け合える課題と活動とは

- 【課題】
- ・ 人と人とのつながりが希薄になっている
 - ・ 災害発生時の対応に不安がある
 - ・ 高齢者や子ども等の見守り・支援に不安がある
 - ・ ゴミ捨てに関する問題がある
 - ・ 空き家が増加している

【解決策】

- ・ 能登半島地震で防災への関心が高まり、町内独自で高齢者名簿やマップを作り、近所で見守る体制
を作りました。
- ・ 町内で共同除雪機を購入し、有志で除雪隊を結成。
グループ LINE で参加者を募り、通学路や高齢者宅の除雪をしています。
- ・ 田中先生が紹介してくれた「赤いバラ作戦」（一人暮らしの高齢者が朝起きたら玄関先にバラの造花を
吊るし、夜寝るときに外すことで、近所の人が簡単に安否確認ができる。）を町内会に提案したいです。

STEP 3 「町内会運営改善ワークショップ」運営の負担軽減・効率化のアイデアとは

- 【課題】
- ・ 役員の負担が大きい
 - ・ 役員の担い手が不足している
 - ・ 町内会の情報・加入のメリットが分からない
 - ・ 会費・会計に問題がある

【解決策】

- ・ お祭りの屋台は、町内で出さなくてもキッチンカーを呼べば手間が省け、美味しいものが食べられる。
また、予算があるのなら、イベントの運営自体を業者に委託するという方法もあると考える。
- ・ 会費の集金は、総会の時にまとめて集めたり、口座引落としやカード決済、外部委託も検討してみたい。
- ・ 総会の際には事前に資料を配付すれば、質疑もスムーズに進み時短になると考える。

■ すべての意見はこちらからご覧いただけます→



サミットを終えての波及効果

参加者からは、サミットを毎年開催してほしい、地区でも開催してみたい、といった意見を多数いただきました。
また、サミットを開催したことで、以下のような波及効果をもたらしています。

【福井市清明地区 ～若い人を巻き込む～】

福井市清明地区の住民でつくる「清明まちづくり委員会」では、ふくい町内会サミットを受けて、福井大学の田中准教授を招き、若い世代を町内会に巻き込むためにどのようなことをすべきかを議論しました。地区住民 12 人が参加し、担い手の高齢化や固定化問題の解決に向けて活発な意見交換を行いました。



【鯖江市 ～DX 推進を議論～】

鯖江市では、2022 年から電子回覧板アプリ「結ネット」を導入して町内会の DX を推進しており、導入推進から 3 年目の今期は、結ネット導入補助の最後の年となります。

DX のメリットを多くの方々に理解してもらうため、鯖江市でも、11/16 にふくい町内会サミットをベースに区長研修会を開催し、結ネット導入地区と未導入地区の区長が意見交換を行う予定です。



【永平寺町清流地区 ～イベントの運営委託を実施～】



地区のイベントがコロナ禍により中止となり、運営ノウハウの引継ぎが行われず、担い手の負担増から「イベント廃止を訴える層」と「伝統を続けたいと願う層」に挟まれた町内会役員が、解決策を求めてふくい町内会サミットに参加しました。

そこで得た、イベントの運営委託という手法を用いて、10/20 に「清流フェス」を開催しました。



■ 自治会・町内会に関するお問い合わせ先

市	担当課	連絡先	町	担当課	連絡先
福井市	地域振興課	0776-20-5230	永平寺町	総務課	0776-61-3941
敦賀市	総務課	0770-22-8101	池田町	総務財政課	0778-44-8003
小浜市	総務課	0770-64-6002	南越前町	総務課	0778-47-8010
大野市	地域文化課	0779-66-1111	越前町	総務課	0778-34-8700
勝山市	総務課	0779-88-1116	美浜町	総務課	0770-32-6700
鯖江市	市民主役推進課	0778-53-2214	高浜町	総務課	0770-72-7700
あわら市	総務課	0776-73-8004	おい町	総務課	0770-77-4050
越前市	市民協働課	0778-22-3293	若狭町	総務課	0770-45-9109
坂井市	市民協働課	0776-50-3017			